

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	建築学C A D演習	
科目基礎情報							
科目番号	94031			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建設工学専攻C			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	特に指定しない／適宜資料等を閲覧、配布、「Vector Works 徹底解説 基本編（活用編）」長谷部真 著 エクスナレッジ						
担当教員	三島 雅博,前田 博子						
到達目標							
(ア) 2次元及び3次元CADの基本操作技術が身についている。 (イ) 発想、コンセプトが豊かである。 (ウ) 3次元C A Dの特性が発揮された作品である。 (エ) より高度なCADの技術の習得とプレゼンテーションに対する努力が提出物に表現されている。 (オ) プレゼンテーション（作品発表）によって、設計の意図を十分に伝達することが出来、また、質疑に対し適切な説明が出来る。 (カ) 与えられた期間内に課題を作成する計画をたて、提出できる。							
ルーブリック							
	最低限の到達レベルの目安(可)						
評価項目(ア)	2次元及び3次元CADの基本操作技術が身についている。						
評価項目(イ)	発想、コンセプトが豊かである。						
評価項目(ウ)	3次元C A Dの特性が発揮された作品である。						
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	3次元CADの操作技術を習得し、建築設計における高度な作図・プレゼンテーション技術を身につける事を目標とする。課題は前後半の2課題とし、いずれも全国レベルの設計コンペティションを課題テーマとする。最終的にC A Dによるドローイング・プレゼンテーションを作成する。基本的な操作・作図にとどまらず、高度な表現技術の習得への試みを求める。						
授業の進め方・方法							
注意点	履修にあたっては、本科等において、Vector Works等の3次元C A Dソフトの基本的操作を習得していることが望ましい。						
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	第1課題ガイダンス：課題説明（課題の意図、設計課題の中での位置づけ、敷地、構造、規模、提出物、スケジュール）				
		2週	エスキース（スケッチ、模型作成）、各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換				
		3週	エスキース（スケッチ、模型作成）、各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換				
		4週	エスキース（スケッチ、模型作成）、各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換				
		5週	3次元データ入力・チェック				
		6週	3次元データ入力・チェック				
		7週	3次元データ入力・チェック				
		8週	講評会：各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表、学生からの質疑				
	2ndQ	9週	第2課題ガイダンス：課題説明（課題の意図、設計課題の中での位置づけ、敷地、構造、規模、提出物、スケジュール）				
		10週	エスキース（スケッチ、模型作成）、各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換				
		11週	エスキース（スケッチ、模型作成）、各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換				
		12週	3次元データ入力・チェック				
		13週	3次元データ入力・チェック				
		14週	3次元データ入力・チェック				
		15週	講評会：各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表、学生からの質疑				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		課題	課題			合計	

総合評価割合	50	50	100
専門的能力	50	50	100